

昭和63年水戸市消費者物価指数(速報値)は0.6%の上昇

昭和63年の水戸市消費者物価指数(速報値)は、総合で100.9(昭和60年=100)となり、前年に比べ0.6%上昇した。(図-1)

上昇幅は、61年、62年に比べてやや拡大しているが、これは生鮮野菜、生鮮果物が夏の天候不順の影響で9月以降値上がりしたためである。生鮮食品を除くと上昇幅は昨年と同じ0.2%の上昇と3年連続して1%未満となり物価安定基調は変わらないと思われる。

昭和63年は、円高差益還元のため1月から電気・ガス料金が値下げされ、さらに、灯油、ガソリンなどが円高により値下がりした。しかしながら、4月からは高校、大学の授業料及び入学金が値上

げされ、また、学習塾等の月謝も値上げされたことにより教育関係費が約3%上昇し、さらに9月からは夏の天候不順の影響で生鮮野菜、生鮮果物等が大幅に値上がりしたことなどによりこのような結果となった。

昭和62年平均を10大費目別に対前年上昇率で見ると、「教育」(+3.3%、「住居」(+2.9%、「被服及び履物」(+1.2%、「教養娯楽」(+1.1%、「食料」(+0.8%、「諸雑費」(+0.4%と上昇し、一方、「光熱・水道」(△3.2%、「交通通信」(△0.8%、「保健医療」(△0.3%、「家具・家事用品」(△0.1%の下落となった。

(統計課・農林経済グループ)

図-1 水戸市消費者物価指数の推移

